

TURNミーティング

TURNミーティングでは、多彩なゲストを招き、
思考を深めたり、参加アーティストと交流先施設が一堂に会します。

2017年 10月 8日(日) 第2回 TURNミーティング @東京藝術大学

11月19日(日) 第3回 TURNミーティング @東京藝術大学

2018年 1月28日(日) TURNミーティング年次報告会 @東京藝術大学



東京都美術館 〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36 ※美術館には駐車場はありません。車での来館の際はご注意ください。
JR上野駅「公園口」より徒歩7分/東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分/京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
バリアフリー情報 → <http://www.tobikan.jp/guide/barrierfree.html>

TURNとは？

障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの属性や背景の違いを超えた多様な人々の出会いと表現を生み出すアートプロジェクトです。様々な分野の機関と連携・協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指しています。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外へ発信するとともに、TURNの考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していきます。

お問い合わせ

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)事業推進室事業調整課
TEL: 03-6256-8435(10:00-18:00 土日祝日を除く)/080-9081-0171(18日 9:30-21:00、19日-20日 9:30-17:30)
E-mail: info@turn-project.com

<http://turn-project.com>

TURNフェス3

2017年8月18日(金)ー20日(日) 東京都美術館

池田晶紀 板橋区立小茂根福祉園 今井さつき 井谷優太

大西健太郎 川瀬一絵 現代芸術活動チーム【目】 シューレ大学

しょうぶ学園 高橋正浩 滝沢達史 富田了平 富塚絵美

マダム ボンジュール・ジャンジ 山縣良和+こののがっこう

山城大督 らくだスタジオ TURN in BIENALSUR



見る・知る・TURNする!

開室時間: [18日] 9:30-21:00 [19-20日] 9:30-17:30 (入室は閉室の30分前まで)

会場: 東京都美術館 ロビー階 第1・第2公募展示室 入場無料 手話通訳・文字支援等の
アクセシビリティサービスあり 主催: 東京都、アーツカウンシル東京・東京都美術館
(公益財団法人東京都歴史文化財団)、NPO法人 Art's Embrace 監修: 日比野克彦

TURN FES 3



Art's Embrace

Cultural
Olympiad



<http://turn-project.com>

今年も真夏の開催！美術館でTURNする3日間！

金曜は21時まで開館！

当日参加可能なガイドツアーあり

TURNのアクセシビリティ

コーディネート：NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク、馬場正尊

当たり前のことを当たり前にするアクセシビリティサービスを始めたい。会場に来にくい人の道のりを一緒に辿ってみたり、特性に合った技術の活用や工夫を紹介したり、コミュニケーターによるガイドで会場を案内する。改正されたばかりの文化芸術基本法で、文化芸術を社会基盤とするための福祉との有機的な結びつきが謳われ、昨年制定された障害者差別解消法のおかげで「合理的配慮」という言葉も一般に知られるようになってきた。しかし、法律や権利が整ったら自動的に生きやすさや幸せが保障されるという訳ではない。全ては意識と行為によってもたらされるもの。だから、その手立てを楽しみながら工夫しよう。



Photo : Ryohei Tomita

大西健太郎+板橋区立小茂根福祉園

たくさんの「ひとがた」が、会場の宙に飛んでいく。

井谷優太を富田了平が撮る

電動車いすで生活している井谷優太さんが、自宅から上野の東京都美術館にやってくるまでのドキュメント。

山城大督

協力：岩田美津子(てんやくえほんふれあい文庫)、福森みか(音点字)、山川秀樹 ほか
《センサリー・メディア・ラボラトリー》感覚や知覚について研究するプロジェクト第一弾。見えない人や見ることを考える人たちとつくる「まっしろな絵本」。そのキックオフミーティングと関連資料展示。

言葉も鳥も舞う“光の広場” 富塚絵美+マダム ボンジュール・ジャンジ

話し声が消えた広場に始まる物語。そこには光と方角を示すコンパスがあった。人々が集い、次第に声なき言葉が生まれ、一人ひとりのからだに眠る記憶が描き出されていく。小さなかけがえのない物語が行き交う広場には、新たな声との出会いがある。

その他にも盛りだくさん



学校がTURNする 山縣良和+こののがっこう+しょうぶ学園

答えは正しくないといけない。間違うのはダメ、よそ見したらもっとダメ...そんな教育のスタンダードを見直す山縣良和主宰のファッションデザイン教室「こののがっこう」が、しょうぶ学園の協力を得て、思考をTURNさせる新感覚の授業を展開。

今井さつき+シュレ大学

APDEC (アジア・太平洋フリースクール大会) を振り返る。

滝沢達史

協力：アーツ前橋
学校や学びについて、子供や若者と一緒に考える場をつくる。

TURN LANDを考える ワークショップ

ファシリテーター：西村佳哲(働き方研究家、リビングワールド代表)
テーマ：「福祉施設を文化施設に」

現代芸術活動チーム【目】

リサーチ活動から着想したワークショップ。

TURNに迫るドキュメントビデオ らくだスタジオ

異なる背景や習慣を持った人とは誰なのか、どのように出会い、関係するのだろう。抽象的な言葉の奥に見え隠れするTURNの本質を、らくだスタジオが独自の視点で捉えた映像作品。

TURN in BIENALSUR

南米のさまざまな都市を会場に開催される第1回国際現代美術ビエンナーレ「BIENALSUR」に招聘されたTURN。今年9月にブエノスアイレスとリマにて発表を控える「TURN in BIENALSUR」の最新情報を紹介！

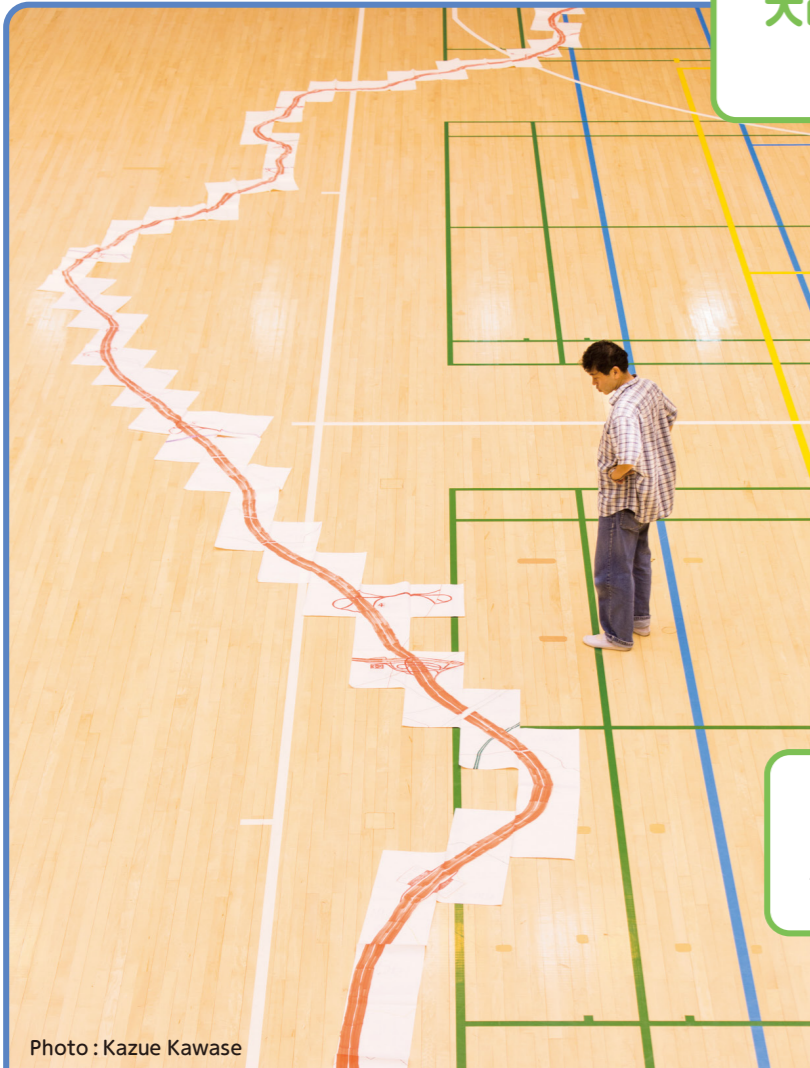


Photo : Kazue Kawase

高橋さんが地図を広げた日 高橋正浩+池田晶紀+川瀬一絵

協力：社会福祉法人きょうされんリサイクル洗びんセンター

高橋さんが30年以上毎年更新しつづけている手描きの高速道路地図。これをはじめて広げてみるという、3年目の交流がもたらした転機に遭遇しよう。

※ 出演者やプログラム内容等は、予告なく変更になる場合がございます。

プログラムの詳細・タイムスケジュールは、公式ウェブサイトとFacebookでチェック！